



せいしょ きせき ものがたり
 聖書の 奇跡の 物語：

パウロが まむしの 毒から 守られる

しとぎょうでん だい しょう せつ
 (使徒行伝 第28章 1-6節)



しと たいこく しゅうじん ふね おく たび なか ふね おおあらし
 使徒パウロが ローマ帝国の 囚人として、船で ローマに 送られる 旅の 半ばで、船は 大嵐に
 み あさせ の あ ゆうじん いしゃ
 見まわれ、浅瀬に 乗り上げてしまいます。パウロの 友人で、ルカという 医者も いっしょに
 ふね の しとぎょうでん ちよしゃ と き せつめい
 船に 乗っていました。ルカは 使徒行伝の 著者で、その時の ことを このように 説明しています。

ふね なんぼ の こと もの じょうりく あと どう
 船が 難破し、乗っていた わたしたちや ほかの 者たちが 上陸した 後、そこは マルタ島で
 ある ことが わ 分かった。

あめ さむ しま じゅうみん ひ
 雨や 寒さを しのぐために、島の 住民は たき火を たいてくれた。

パウロが えだ ひ に くべると、ねつき で 出てきて、パウロの て にかみついた。
 しま ひとびと ひと ひとごころ うみ たす し
 島の 人々は、「この人は、きっと 人殺しに ちがいない。海では 助かったが、死から のがれる
 ことは できないのだ。」と 言い合っていた。

パウロは まむしを 火の 中に ふり落とし、何の 害も 受けなかった。

ひとびと なが あいだ ようす ひ なん がい う
 人々は 長い間 様子を うかがっていたが、パウロの 身に 何も 起こらなかつたので、かんが
 か かみさま い だ
 変えて、パウロは 神様だと 言い出した。

(パウロは この機会を 用いて、神様の み子である イエス様について、人々に 証したのでした。)

文：ディディエ・マーティン、聖書の物語を分かりやすくしたもの 絵とデザイン：ディディエ・マーティン

Copyright © 2015年、ディディエ・マーティン 使用許諾取得済“Coloring Page_Miracles in the Bible_Paul’s Protection from a Viper Bite”--Japanese
 関連の読み物はこちら ⇒ 子供のための聖書物語、ぬり絵、奇跡、聖書の奇跡の物語